

スタートアップセミナー2020
2020年5月14日

総合企画委員会の活動紹介

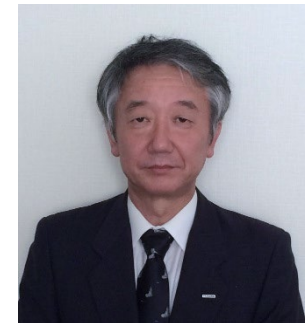
株式会社 安川電機

技術開発本部 技術企画部

産学連携チームリーダー(兼)国際規格担当部長

富田浩治(総合企画委員長)

YouTubeライブ配信



IVIメンバーに対して、企業を超えた技術動向や活用事例などに関する最新の知識や経験を提供する

広報

企画

庶務

渉外

契約

総務部っ
ぽいところ

●**先進研究分科会 (ASG)** テーマごとに設定し、主査および副査により運営。
※ASG: Advanced Study Group 必要に応じて外部の団体と連携して活動。

●**デジタルメディアWG** 広報、会員ページでのデータ共有、Webinarの開催事務、アンケート、ブログ・動画等の管理。

●**シンポジウムWG** 春および秋のシンポジウムの企画、運営。
プログラム作成およびフィードバックの管理等。

2020年度より新規担当

●**標準化WG** IVRAの開発、標準化、辞書のスキーマ等の開発。
国内外の標準化団体との連携。

●**認証評価WG** 認証基準にしたがって、審査委員会を手配し、IVIの活動やツールなどの評価、認証を行う段取り等。



- 2018年度より活動を開始、これまでに17の分科会が発足
- 課題解決に使える“シーズ”や先進的テーマを取り組中

主査(ファシリテータ)

ASG
設置申請書

総合企画委員会にて審査

先進研究分科会
(ASG)

既存のコミュニティ

提携団体
の研究会など

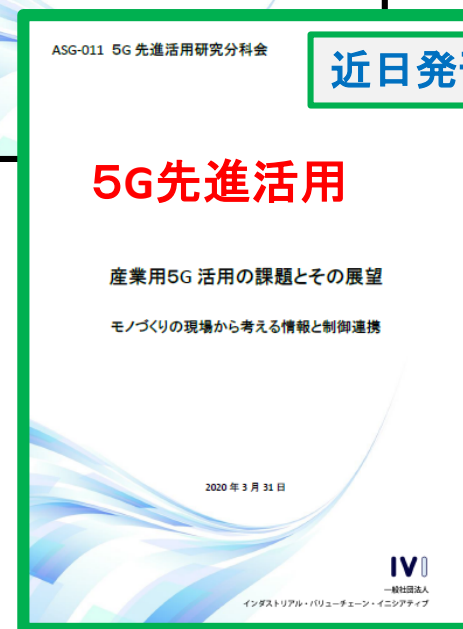
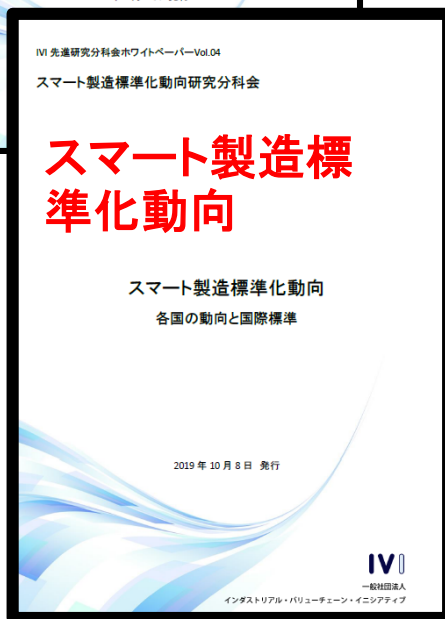
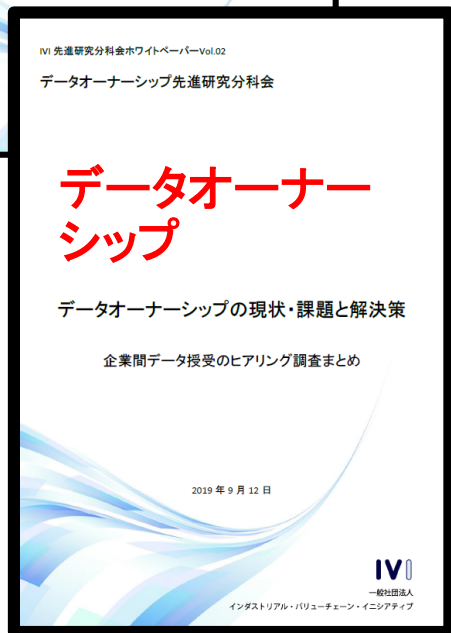
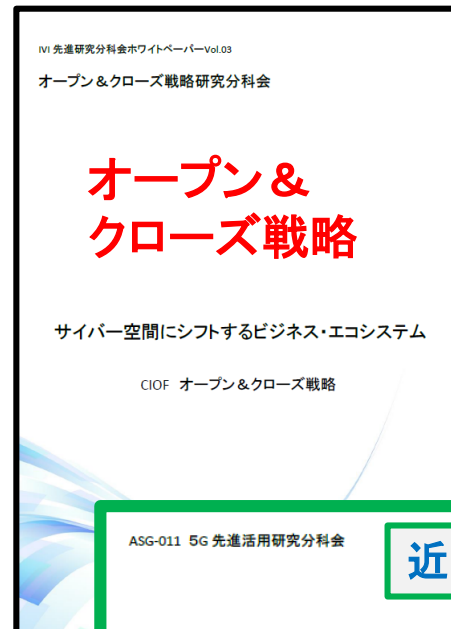
1. メンバーは主査1名、副査1名を含む5名以上
2. 設置の提案内容を総合企画委員会にて審査
3. 活動期間は1年、最大で3年まで延長可能
4. 開始時期は年間を通していつでも可能
ただし、年度末となる2月、3月は原則発足なし
5. 活動期間中のASG毎の年間予算は、総合企画委員会で決めた上限とし、会場費、講師謝金等
に利用、執行の際は事務局に支払いを依頼
6. 会合は、原則年5回以上開催、活動開始から
一年経過毎に活動報告書を提出

個人資格でも
参加が容易



先進研究分科会(2/7):ASG一覧

番号	分科会名	主査	目的・ゴール	
001	IoTと管理会計	富士通	IoTを活用して儲かる工場を実現	活動中
002	データオーナーシップ	日立ソリューションズ	現場データの権利を守る	活動中
003	経営と現場をつなぐKPI	川崎重工	両者をつなげる意義を明らかに	活動中
004	スマート製造標準化動向	安川電機	国際標準動向の把握と戦略検討	活動中
005	AI・深層学習応用	コンピュータロン	時系列データ解析を実践	活動中
006	ブロックチェーン活用	IHI	ものづくり・SCM現場への活用	活動中
007	次世代BOM・BOP	ブラザー	緩やかな標準化運用の価値を提示	終了
008	身の丈ロボット	安川電機	中小企業導入に向けた提案	活動中
009	ラズパイ徹底活用	AAC	ラズパイの実戦的導入	準備中
010	3Dプリンタビジネスモデル	AAC	新たなビジネスモデル・活用シナリオの提案	活動中
011	5G先進活用	日立産機システム	欧州産業用5G動向と日本の戦略検討	活動中
012	センサーデータ活用技術	東芝	ユースケースの整理とデータ活用手法確立	活動中
014	ARデバイス活用	マツダ	生産現場向けをモックアップで提案	活動中
015	オープン&クローズ戦略	日立製作所	日本の勝ちパターンの具体的提案	終了
016	リアル/バーチャル融合検証システム	マツダ	シミュレーションとハードの相互補完	活動中
017	汎用マイコン	CKD	事例集作成と選手権開催	終了

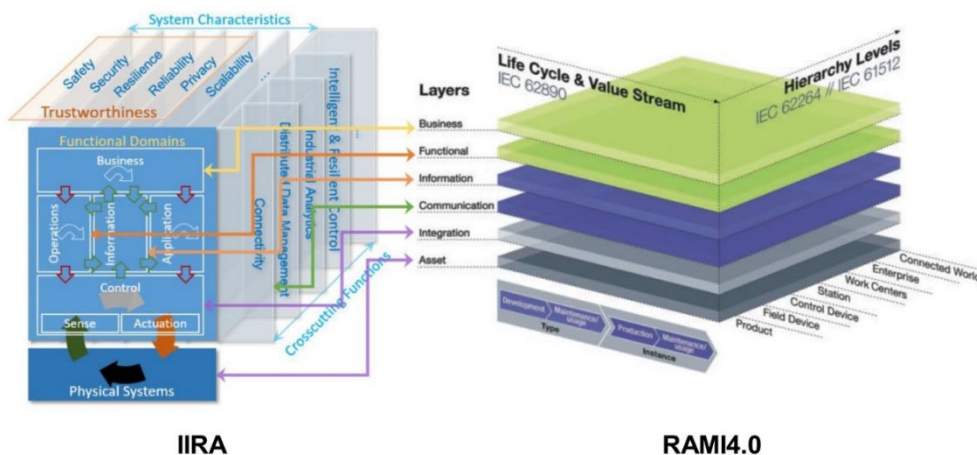


IVIホームページでダウンロード可能 https://iv-i.org/wp/ja/downloads/whitepaper_asg/

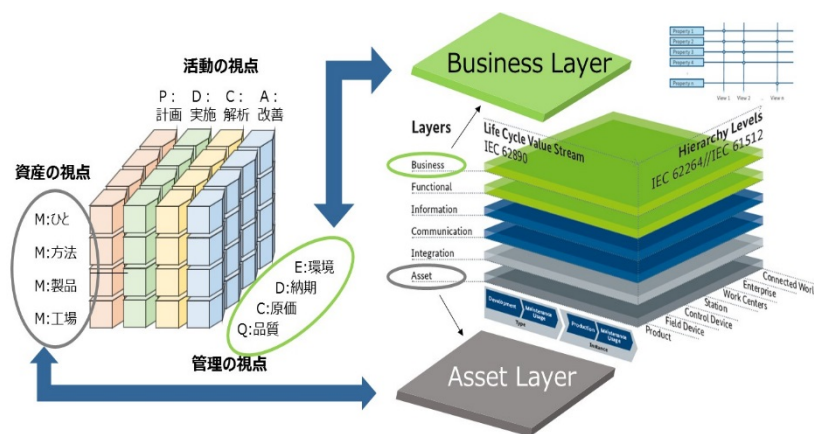


スマート製造に関する各国や標準化組織の動向、分科会メンバーが注目する標準技術について調査

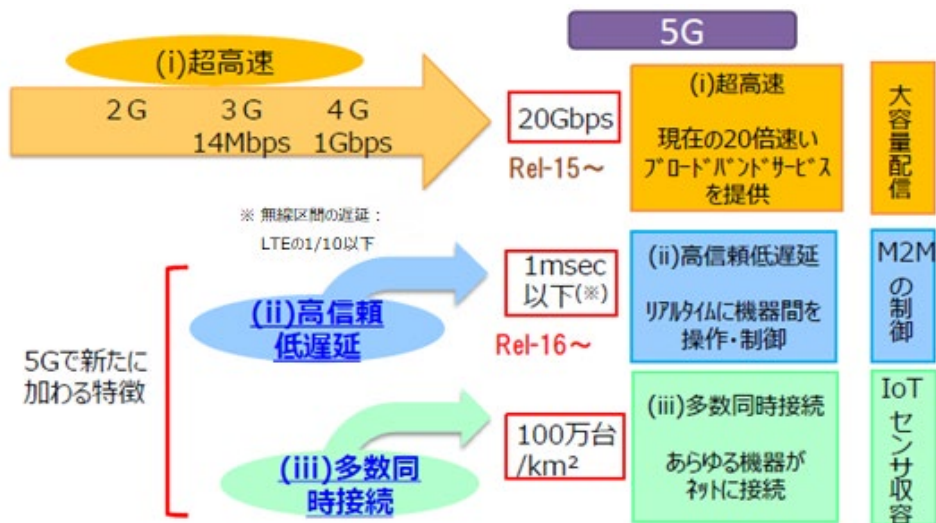
- ドイツ、米国、中国、および日本における動向
- 日米欧を含む各国におけるスマート・マニュファクチャリング技術の動向
「特許庁の特許出願技術動向調査報告書(スマートマニュファクチャリング技術)」を参照
- スマート製造に関する標準化団体・業界団体の動向
- IEC/TC65、ISA95、製造分野に関する5G技術。
- 注目規格類: RAMI4.0、管理シエル、AutomationML、Industrial Data Space 等



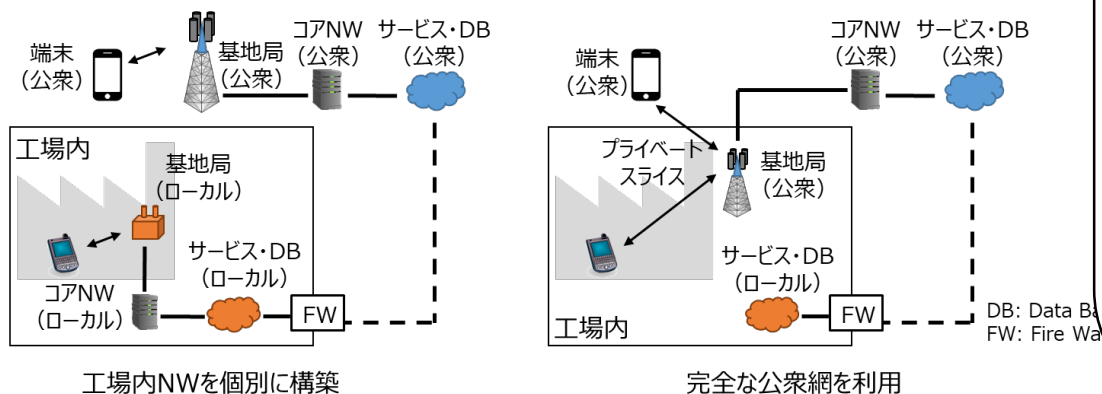
IIRA and RAMI 4.0 とのマッピング



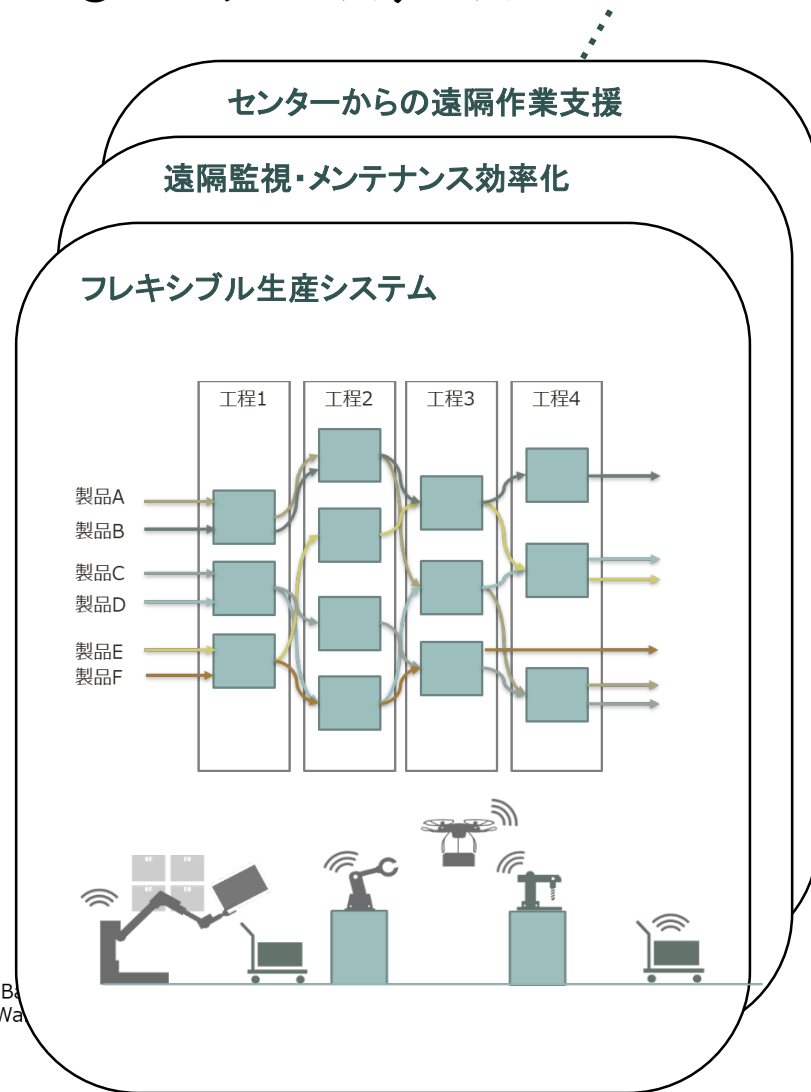
●5Gとは



●ローカル5G



●7つのユースケース



ASG 007 次世代BOM/BOP研究分科会

2018年7月～2019年3月（終了）

IVI公開シンポジウム 2020 -Spring-

～20年4月からBOPのCIOF流通を目指し活動再開予定～

BOM/BOPの現状

製品の情報はE-BOMで管理されている。
調達・生産の情報はM-BOMで管理され、ERPやMESに連携されている。

（この企業はEXCELや帳票（紙）での管理と）

標準化動向研究分科会

2018年7月～ 活動休止中

Spring-

組み

つながる工場や企業連携の実現において重要な
企業の中長期戦略が反映され、将来のものづくり像、
考える上で重要な手がかりとなる。
向を把握し、日本の立ち位置や戦略を検討する。

米、中国、日本）の動向について調査
関連する技術について調査

成果報告書）にまとめた。

日本
・Connected Industries
・IIVI (IVI)

米国
・Dell (テストベッド)
・HP

中国
・Huawei
・Alibaba

2019年度は活動を

製品設計

生産準備 → 生産

E-BOM ↔ BOP ↔ M-BOM

書を参照ください

比較 BOP情報連携固定値

項目	日本	米国	中国
設計	製品設計	製品設計	製品設計
生産	生産準備	生産準備	生産準備
流通	流通	流通	流通
販売	販売	販売	販売
サービス	サービス	サービス	サービス

新村組
東山 謙二
西岡 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二
藤原 謙二

ブリヂ・工業株式会社
アール・システム・株式会社
成法大学 (IVI) 理事長
三井物産株式会社
株式会社日本経済研究所
株式会社電通国際情報サービス
富士通株式会社
ソニー・コンピュータ株式会社
株式会社花菱製作所
日本電気株式会社

(C) 2020. Industrial Value Chain Initiative 8

2020年 1月9日(木)



- 各ASG活動状況共有
- 自由討論～お困りごと共有～分科会相互連携の可能性検討
- ASG活動活性化方策の検討
発表会、メンバー増強/少数化、アワード表彰制度、etc.

★今後、この活動資産を活かして講演会・講習会などの開催を計画する。

例) IoTと管理会計ASG : IoTとコストマネジメント入門講座 2020年3月17日中止



会員・会員外との接点を作る・創る！

●ニュースレター



●リーフレット



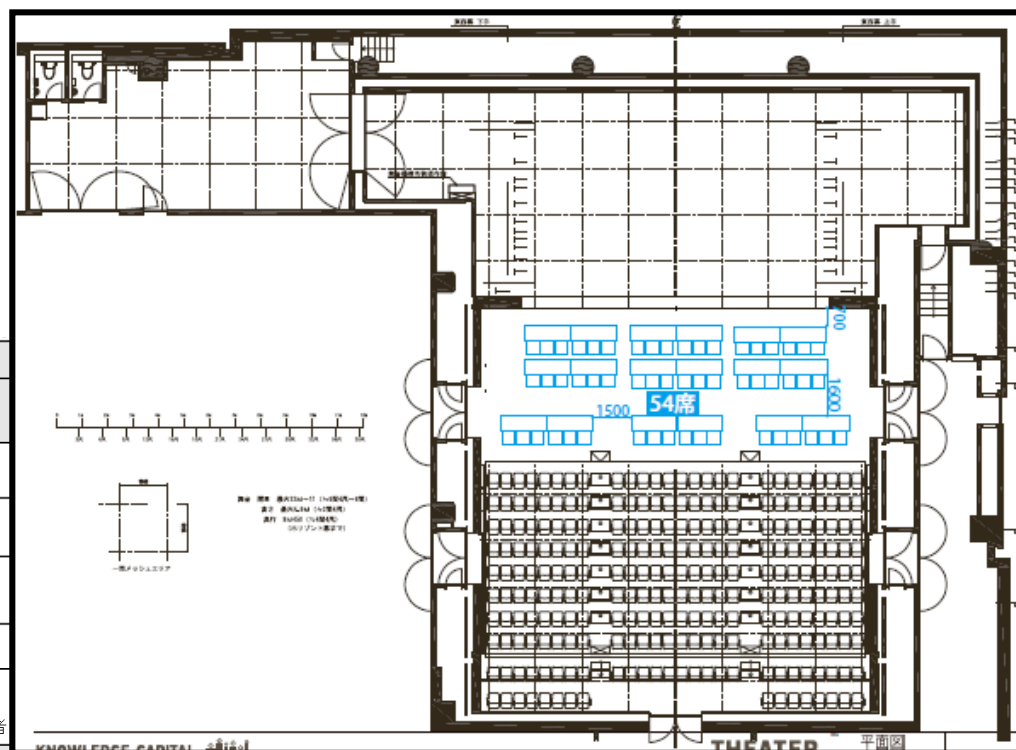
●ビデオ



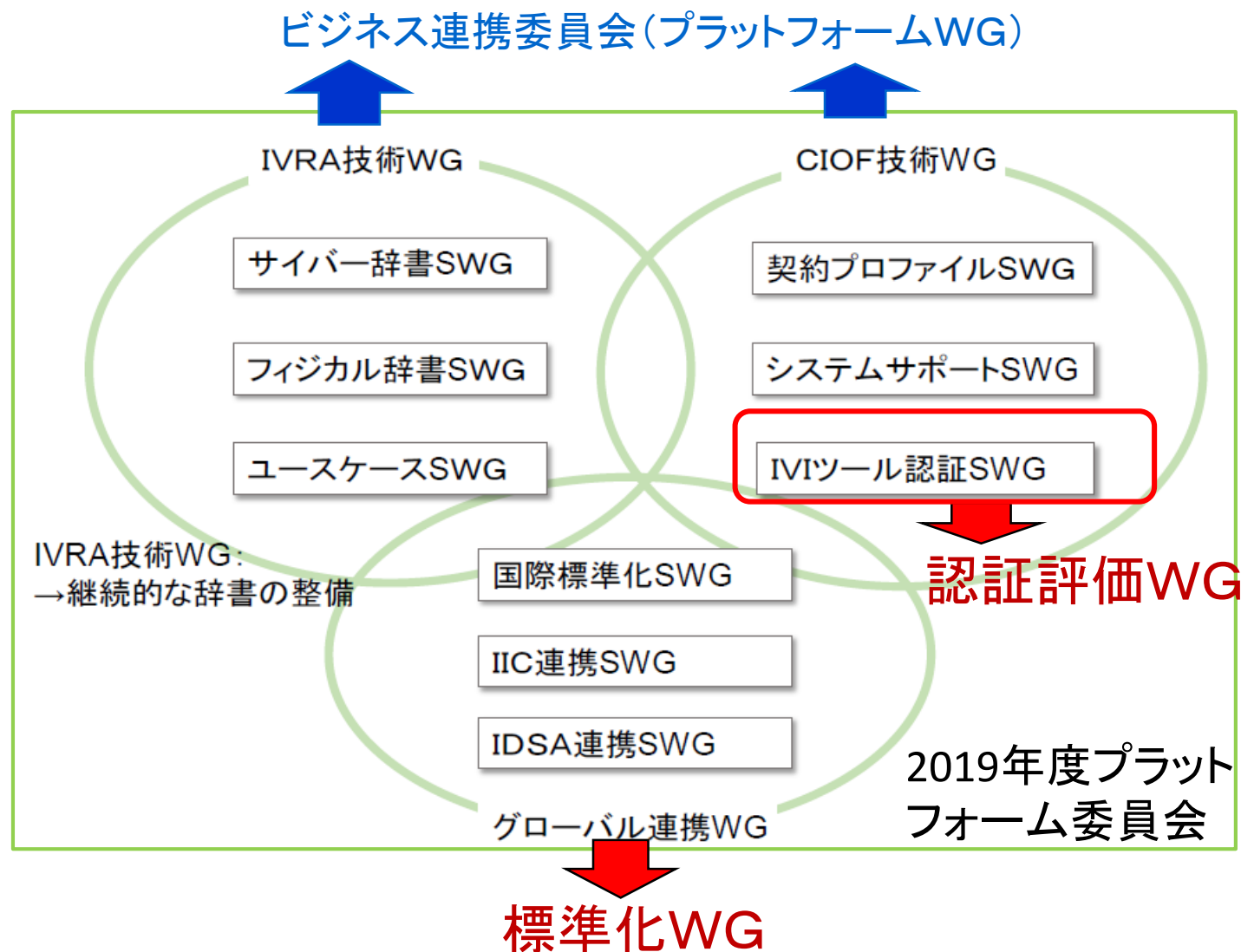
秋・春

会場準備・プログラム・ 当日の司会など

【プログラム】				
12:30	開場	司会:IVIフェロー 関行秀氏		
13:00	来賓挨拶	経済産業省 近畿経済産業局 地域経済部長 矢島秀浩氏		
13:10	招待講演 IOT 技術とデータの活用によるスマート社会 の実現ー自動運転と電力のケーススタディ	慶応大学理工学部教授 山中直明氏		
13:50	【業務シナリオ合同WGセッション1】 セッション1-1:つながるものづくりを実装する セッション1-2:DX時代のものづくり最前線	IVI代表幹事 西村 栄昭(ブラザー工業) および各業務シナリオWG発表者		
15:20	コーヒープレイク			
15:45	【業務シナリオ合同WGセッション2】 セッション2-1:AIで切り拓くものづくり新時代 セッション2-2:資産価値向上こそ生きる道	IVIビジネス連携委員長 水野博之(CKD) および各業務シナリオWG発表者	パネル	PC②
17:15	【基調講演】 "モノからコトへ"とはどういうことか？ ～デジタルトランスフォーメーションの正しい 理解～	法政大学デザイン工学部教授 IVI理事長 西岡 靖之氏	単独	PC① または自前
17:55 18:00	閉会の挨拶 終了			PC③日本会議



既に、
秋に向けて
活動開始！



総合企画委員会としては、新たな挑戦！

委員長	富田 浩治	安川電機
副委員長	内藤 信吾	ダイフク
委員	木村 和生	東芝
委員	高鹿 初子	富士通
委員	関 行秀	日本電気
委員	鍋野 敬一郎	フロンティアワン
委員	中野 友恵	安川電機
委員	茅野 眞一郎	三菱電機
委員	森 健一郎	オムロン

今後も、追加予定。
興味がある方は、是非、参加表明ください。

富田メールアドレス: Koji.Tomita@yaskawa.co.jp

